



日本老年看護学会 メールマガジン 第33号 2015/9/16

「日本老年看護学会災害支援検討委員会」からの緊急配信 (1)



- 2015年9月10日(水)～11日(木)の栃木・茨城・宮城の水害に関して、以下の情報がきています。
- 支援可能な方は各自で連絡をとってください。
- まだ情報が不足している段階のため、被災地の情報や支援に関する情報をお持ちの方は、松岡委員 c-matsuoka@bukkyo-u.ac.jp までお寄せください。
- 今後も情報が入り次第、皆様に流していく予定です。
- 支援できる方々などに情報を流してください。

.-----.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*

災害支援の情報について (2015/9/15 時点)

.-----.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*

①一般ボランティア

泥出し、室内の清掃、家具等の撤去、河川周辺の清掃等、がれきの撤去等の一般ボランティアの受付が各地で行われています。詳しくは、茨城県や各地域の社会福祉協議会のHPを確認してください。

- ・茨城県 <http://www.pref.ibaraki.jp/>
県レベルで集約されている、避難所状況や支援情報が掲載されています。
- ・常総市社会福祉協議会 <http://joso.vc/57>
- ・鹿沼市社会福祉協議会 <http://kanuma-shakyo.or.jp/> ※9月17日のみ受け入れ休止
- ・日光市社会福祉協議会 <http://www.shakyo-nikko.or.jp/>

②医療・看護ボランティア

DMAT(災害派遣医療チーム)や緊急医療班が現地で活動しています。災害看護学会の先遣隊からの情報によると、今後、現地での看護活動は、都道府県看護協会の災害支援ナースに引き継がれていくだろうということです。災害看護学会としては、今後長期的な支援について検討するそうです。

③JRAT(大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会)

災害支援検討委員会の六角委員が、JRATの方と連絡をとっています。今後、災害急性期を過ぎると、JRATの活動が始まることが予想されますが、その時に、

健康チェックや入浴時のバイタルチェック等を行う、看護ボランティアが必要となるという事です。

JRAT（大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会） <http://www.jrat.jp>

④その他

- ・茨城県地域密着型サービス協議会からの依頼
災害支援金と介護ボランティアの依頼が来ています。ホームページをご確認ください。
<http://www.ibaraki-chiiki.com/>

*.
大規模支援災害時の高齢者支援ガイドのホームページ掲載について
*.

- 災害支援検討委員会で作成していたガイドを、学会 HP (<http://www.rounenkango.com>) に掲載しています。
- 超急性期から静穏期、さらに準備期に必要な支援について、一覧できるものです。ご活用いただければ幸いです。
- ご意見等がある場合は、会員専用サイトの「ご意見」より災害支援検討委員会宛てにお送りください。

+.....+
< 発 行 >
日本老年看護学会 総務広報
担当：北川 公子（共立女子大学看護学部）
+.....+

※このメールは 2015 年 9 月 16 日現在のご登録情報をもとにお送りしております。
配信先の変更や停止については、下記事務センターまでご連絡ください。
※このメールの発信元アドレスは、送信専用アドレスです。
本メールへの返信はできません。
お問い合わせは、下記学会事務センターのアドレスにお送りください。

+.....+
<発信元>
日本老年看護学会事務センター
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 4-1-1 株式会社ワールドプランニング内
Tel:03-5206-7431 Fax:03-5206-7757 E-mail:rounenkango@nqfm.ftbb.net
+.....+